

糸魚川市及び佐渡市と連携協定を締結しました

本学は糸魚川産業界とこれまで研究発表や施設見学等で交流を行ってきましたが、今後の更なる交流・連携の推進を図るため、平成30年7月に糸魚川市と新潟工科大学との連携協定を締結しました。協定締結後の9月には、本学1年生2名が夏期休暇期間の3日間糸魚川市に滞在し、製造業と建設業の3社でインターンシップによる企業実習を行いました。参加学生は、経営者の想いや社員の仕事に対する取り組み姿勢等に直接触れ、企業や業界の状況を学ぶことができました。また、自身の進路選択や将来の希望、就職活動の際の視点も育むことができ、今後の学びにおいて貴重な経験となりました。

12月3日(月)には、糸魚川市のヒスイ王国館において糸魚川地域産学交流会を開催しました。初めに、日本アイ・ビー・エム株式会社のマーケティング&コミュニケーションお客様プログラムDigital&Engagement担当の中野千春氏から、「デジタル革命の時代をどう生きぬくべきか?~society5.0への挑戦~」をテーマに基調講演があり、国内外で導入事例が増えている音声認識技術を活用した事例や、研究・医療支援などの探求発見分野での具体的な取り組みなどの紹介がありました。続いて本学の寺島正二郎教授が、「一医療・福祉分野へのチャレンジ」をテーマに外科手術支援デバイスや高齢者・障がい者のための支援装置の開発事例紹介を行い、その後の情報交換会で交流を深めました。

この協定締結を契機に、糸魚川市地域のものづくり産業の振興や地域づくり、人材育成等に関して更なる連携を深めて参ります。



インターンシップでの学生の発表



産学交流会での講演

11月27日(火)には佐渡市と本学とのパートナー協定を締結しました。佐渡市とは平成25年から佐渡創業塾や佐渡産業振興セミナーとの合同イベントの開催、佐渡地域の企業訪問等を毎年実施し、産業界及び行政との交流を行ってきました。このパートナー協定はこれらの交流活動を更に発展させるため締結されたもので、佐渡市及び新潟工科大学の交流及び相互の事業が一層推進されていくことが期待されます。



三浦基裕市長と大川秀雄学長



交流会での講演

また、同日には佐渡市金井コミュニティセンターにおいて、佐渡市・新潟工科大学協定締結記念「佐渡交流会」を開催しました。初めに大川秀雄学長から協定締結の期待と想いについて説明があり、その後、下記の講演及び情報交換会により佐渡産業界の皆様と交流を深めました。

演題「日本・佐渡の将来を見据えた視点から“今”必要な戦略と経営」

公益財団法人新潟市産業振興財団 統括プロジェクトマネージャー 百合岡 雅博 氏

演題「米の新しい機能性とその活用」 新潟工科大学 副学長 門脇 基二

演題「ヘルスケアのための人体計測・利用のウェアラブル電気通信技術」 新潟工科大学 教授 伊藤 建一